



1月うぶやま天文台星空情報 5

金星と土星の接近



天空が広がる(久住山系、祖母山系、阿蘇山系の山々を一望できる)一覽三山の台があるうぶやまの高原には積雪があります。大変寒いのですが、冬は空気が澄み切っていて星空は一番きれいです。

晴れていれば、肉眼で見える限界の6等星や、天の川まで見える素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

1月のうぶやま天文台の星空情報の第5弾は、1月8日～28日の比較的長い間見られる金星と土星の接近です。

1月の夕方、南西の空には、金星と土星の2つの惑星が見えています。太陽系の惑星は、それぞれが別々の速度で太陽の周りを公転しているため、星空の中での動きは異なって見られます。日の入り1時間後の空での2惑星の動きを比較すると、金星の高度はあまり変わりませんが、土星が徐々に高度を下げるように移動して行きます。その結果、1月18日～19日にかけて土星と金星がとても近づいて見られます。

金星と土星が最も近づくのは19日未明ですが、その頃は地平線の下にあって見ることはできません。観察できる夕方の空では、18日と19日が最も近づいて見えます。

【観察対象 金星と土星の接近】

